

令和6年度 第1学年「総合的な探究の時間」講演会開催

3月18日（火）本校螢雪館ホールにて「総合的な探究の時間」講演会を開催しました。

講師は本校卒業生の畠山祥氏です。畠山さんは現在、総合研究大学院大学の博士1年で JAXA で大学院生として研究に携わりながら、5つの会社を起業し、経営にも携わっておられるマルチな方です。演題は「僕が高校生の頃に知りたかった話をしよう」で、ご自身の経験してきたこと、その経験を通して得られたこと、モチベーションを維持していく Tips など多くの示唆に富んだお話をしてくださいました。アジア最古の狩猟採集民族との1ヶ月共生生活やアメリカやイスラエル、

タイなどでの経験から国際的な視点で事業を展開している姿は、本校の掲げるグローバルリーダーのよきロールモデルとして身近に感じられました。講演後の質疑応答では「ネガティブになったときの対処法は？」や「失敗したときは原因究明に力を入れるのか、それとも改善策を考えるのか？」「嫌なことがあると逃げてしまうのだが、そんなときにはどのようにしているのか」とい



た質問が出ました。その一つ一つに「ネガティブになったときには、自分にとって価値のあるものに集中するとよい」

「失敗したからこそ進歩できると思う。そのためには徹底的に原因究明を行う」「逃げることも大事、逃げた先が自分のためになるものであればそれを極めることも大事」と丁寧に答えていただき、その答えに頷く生徒たちもいました。畠山さんの講演を聴いて、生徒たちは物事をポジティブに考えていく視点、社会的な問題に着目して解決策を考える大切さを

学びました。最後に生徒代表から謝辞を述べ、短い時間ではありましたが、充実した講演会を終了しました。

